東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリーテーマ

ロータリーを
実践し
みんなに
豊かな人生を

Vol.47　ガバナー公式訪問／第2279回例会　2013.9.19

今年度会長テーマ　話と和で輪を広げ　ロータリーをもっと身近に

ガバナー公式訪問

■クラブ協議会

■司会：石山幹事

■会長挨拶
（地区役員紹介）：
野村会長

■ガバナー挨拶：
吉田建二様

■地区幹事挨拶：
伊東清仁様

職業奉仕委員会

■発表者：
2012～13年度
山本職業奉仕委員長

前年度職業奉仕委員会では、「3分間スピーチ」と題し、会員の皆様に思い思いにお話をして頂き、小冊子として刊行を致しました。
今日は、3分間スピーチより中丸会員と小町会員にお話をして頂こうと思います。よろしくお願いします。

■発表者：中丸会員

皆さんこんにちは。本日は私に3分間スピーチの順番がまわってきました。貴重なお時間を頂き有難うございます。このお時間に何を話そうか迷うところですが、仕事や自己紹介については何度もお話ししていますので、今回は大好きな趣味であるゴルフのことについてお話しさせて頂きます。
私がゴルフを始めたきっかけは、大学を卒業し入社した会社によるものでした。研修が終わり各部署への配属が決まった時の部課長との懇親パーティーの時、上司になる次長から開口一番「君はゴルフをやった事があるか」と尋ねられました。練習場で2～3回打ったことがある程度ですと答えると、隣に居た部下の課長に「君、余っているクラブを中丸君にあげなさい」との一言。課長から古いクラブを頂き、こうして私のゴルフが始まりました。大変ゴルフが盛んな会社だった為、おかげで社内コミュニケーションもうまく取れるようになりました。

■例会日／毎週木曜日　12:30～13:30
■例会場／八坂神社　社務所
〒189-0013　東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／田中　重義
■事務所／〒189-0013
東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL　042-393-7500　FAX　042-395-1166

元来飽きやすい性格で、そのうちゴルフも飽きるだろうと思っていましたが、ボーナスが出ると無理やり先輩に、会社帰りに神田のミズノにつれて行かれました。「いつまでも、もらい物のクラブでは上手くならない」の一言で私のボーナスの半分以上がゴルフクラブに変わってしまいました。他に買いたいものがあったにもかかわらずです。

会社も辞め、そのうち飽きると思っていたゴルフですが、徐々にはまっていってしまい、今でも大好きな趣味となって続いています。なぜなのでしょうか。それはゴルフの持つ奥深いものが飽きさせないのではないかと思うようになりました。

ゴルフにおいては良いショットが、必ず良い結果に結びつくとは限りません。運にもかなり左右される時があります。しかし、良い結果を求めるなら良いショットが要求されます。たまにまぐれもありますが常に良い結果を求めるには良いショットが必要なのです。これは何か人生や仕事にも当てはまるような気がいたします。

最善の努力が最善の結果に結びつくとは限りません。しかし最善の結果を求めるなら、最善の努力が必要です。こんなことを考えながらこれからもゴルフをして行く私です。

■発表者：小町会員

私の職業を3分間スピーチでお話ししましたが、二年半前の3月11日14:26マグニチュード9、震度7の東日本大震災の時は皆さんはどちらで体感されましたか。私は大正時代に建てられた神社社務所の構造のチェックに工事関係者と内部調査していました。ゆっくりとした大きな揺れが一向におさまらないので外に避難、揺れがおさまり柱に据え付けてあった垂直計は三センチほど傾いていました。建物構造は耐震上の計算はできますが、地盤の構造、ましてはプレートの動きは予知不可能です。地中の動きによって建物の被害は大きく違います。建てられる土地の変遷(たとえば地名(谷、溝、沼、窪等)から出来るだけ知ることが大切であり、それにどう対応して建てるかかが大切です。

ここで職業とはの一つの答えとして京セラ稲盛さんの述べている「日本人の労働感」を紹介します。人は仕事を通じて成長していく。自らの心を高め、心を豊にするために精いっぱい仕事に打ち込む。それによってよりいっそう自分の人生を素晴らしいものにしていく。心をみがき、人格を練るという精神的な意義を唱えています。まさしくロータリーの職業奉仕のように思えます。又、ロータリークラブは寄付団体でもない、福祉の慈善団体でもなく、ボタンティアの団体でもない。現象としては寄付もします、福祉の慈善行為もします、ボランティア活動もします。それらはすべて本質的ではない。佐藤千寿パスト・ガバナーがロータリーは間柄の美学である。職業奉仕は倫理＝愛＝を中核とするものである、そして倫理の根底は人間の「愛」でロータリーは個人と個人の関係の倫理であると。

■発表者：樺澤会員

突然に英文の資料を配布して恐縮ですが、読んで下さいというのではなく、後ほどご説明の際に、色の付いた部分を眺めて下されば結構です。

ロータリーには、皆様ご承知のドナルド・カーター物語というお話がございます。今日はこの物語を弁理士の目で検証した結果をお話させていただきます。

ロータリークラブがシカゴで誕生した翌年の1906年、エバレット・アレンが空気弁を発明しました。シカゴロータリークラブの会員のガラス装飾品の製造業者フレデリック・ツイードはこの空気弁を製造したいと思い、資金提供することによりこの発明を特許出願することにして弁理士のドナルド・カーターに依頼しました。

この関係からロータリークラブに入会するように勧誘を受けたドナルド・カーターは「シカゴ市民の利益を促進することなく、会員の親睦と会員相互の利益ばかりのクラブでは将来性も無く、魅力もありません。」と入会を断ったとのことです。

この経験から、ドナルド・カーターがロータリークラブに奉仕の理念の重要性を気付かせ、ロータリークラブで最初の奉仕活動としてシカゴに公衆便所が設置されたのでした。そして、ポール・P・ハリスが執筆された「This Rotarian Age」を読みましたところ、奉仕活動としてシカゴに公衆便所を設置したことは記載されていましたが、弁理士のドナルド・カーターのことは何も触れられていませんでした。そこで、ドナルド・カーター物語を検証するために、アメリカの1906年からの特許を調査しました。しかしながら、エバレット・アレンの発明は見つかりませんでした。見つけたのは、資料のU.S.PATENT OFFICEの図面の右下に記載されているとおり、発明者としてフレデリック・ツイードが、代理人としてドナルド・カーターが署名している空気弁に関する特許(特許第1192020号)がありました。この発明は発明者がエバレット・アレンではなくフレデリック・ツイードとなっており、年代的にも異なり、ロータリークラブに奉仕の理念を芽生えさせた端緒の発明ではないことは明らかであり、この資料からは、弁理士のドナルド・カーターが存在し、かつフレデリック・ツイードと交際があったことは明らかになったと思います。そして、別の資料ですが、或る時偶然に、アメリカの1906年3月の特許出願に基づいてイギリスで特許されたアメリカシカゴ在住となっているアレンの空気バルブの特許(特許第4981号)が見つかりました。この発明がロータリークラブに奉仕の理想を芽生えの端緒となった発明であることは、ほぼ間違いないと思っております。なお、米国の友人の弁理士にこの特許の基礎となったアメリカの特許の調査を頼みましたが、未だに見つかっておりません。この空気バルブは、現在の空気バルブが進歩しているとしても、100年経過している基本構造は同一であり、ロータリーの奉仕の理念も100年経過し、これから100年の間に進歩するとしても、基本は変わらないと考えております。暇人の戯言として貴重なお時間を頂戴しました。

なお、エバレット・アレンの空気バルブの発明は當麻会員が日本語に翻訳しております

■発表者：
2013～14年度
野澤職業奉仕委員長

最近の我がクラブの職業奉仕委員会の活動を振り返ってみますと、主に職場訪問と卓話が主でした。中でも記憶に残ることは、2005～06年、野崎一重会長年度に金子哲男職業奉仕委員長の年度に「職業奉仕の心」というテーマで、各自の職業について語ったことを小冊子としてまとめました。

以来、何年かは職場見学を毎年実施していました。記憶は定かではありませんが、日本の国益を守る警視庁や自衛隊の横須賀基地等も見学した覚えもあります。また最近では2010～11年度、山本会長、當麻誠委員長、続いて2011～12年度、小町幸生会長、當麻誠委員長の時、地区職業奉仕委員長・渡辺孝至氏の卓話及び亀戸天神近くにある船橋屋を職場訪問しました。続いては再登板の當麻委員長は自分の本業であるルートを活用し、ミズノ(株)東京本社を見学いたしました。そして2012～13年度、中丸繁男会長、山本智治委員長、昨年ですが3分間スピーチと題して、それぞれ思い思いのお話をしてもらい、この様に小冊子にまとめました。これらはいずれも貴重なクラブと会員の記録として残ることでしょう。

ところで、最近我がクラブでは、「炉辺会合をやらないね。」そんな声が多く聞かれます。だからという訳ではありませんが、今年度の職業奉仕委員会は、野村会長の要望でもあります勉強会を主として、炉辺会合を計画して欲しいとの要請もあり、会員研修の小町委員長とタイアップして行うことといたしました。

職業奉仕はロータリーの金看板、しかし職業奉仕は難しい、この言葉は耳にタコが出来るほど聞いています。そこで、なぜ職業奉仕が金看板なのか、そのルーツを改めて辿り、職業奉仕を皮切りに四大奉仕の本質について研修して行きたいと思います。既に第一回は新人研修として6月に実施しました。第二回は10月の職業奉仕月間での私の卓話を予定しております。そして前期にもう一回、後期に二回位を目途に、合せて5回の研修を計画しています。又、この間にも地区職業奉仕委員会のセミナーも予定されております。今月25日ですが、これも大変貴重な内容ですので多くのメンバーの出席を期待しています。

そして合計7～8回になろうかと思いますが、年度が終了するころには、職業奉仕は任せておいて良いとまでは？ですが皆さんの意識をどこまで高められるか頑張ってみたいと思います。

会員増強委員会

■発表者：
2012～13年度
戸澤会員増強委員長

前年度会員増強の戸澤と申します。自クラブの会員増強は野崎会員と野澤会員の紹介で北久保会員が入会いたしました。前年度、田無ＲＣ松川会長の時に、当社の取引先の自然商事の吉田社長に入会を勧めて入会させました。

当クラブは、野澤さん、野崎さんの紹介で北久保隆一さん、荻野さん、野澤さんの紹介で清水啓量さんが入会しました。

17年前にオーストラリアからミッシェルという女の子が交換留学で来ました。3年前にひょっこり日本に観光に来て、私の家に1日だけ来て家族全員で食事をしました。来年はオーストラリア・シドニーで世界大会です。

■発表者：
2013～14年度
當麻会員増強委員長

皆様こんにちは。2013～14年度の会員増強委員会の活動方針についてご説明致します。

会員増強は永遠のテーマであり、クラブ会員増強委員会の役割は、会員増強のための行動計画を立て、これを実施することにあります。今年度の会長方針にもある様に、「話と和で輪を広げロータリーをもっと身近に」をテーマに、純増５名を目標にしたいと思います。会長には職権上全ての委員会の委員を務めて頂きますが、新会員を勧誘するのは一人ひとりの責務ですので、全会員のご協力をお願い致します。

続いて昨年度の職業奉仕委員会より刊行されました「3分間スピーチ」に寄せさせて頂きました、私の思いを発表したいと思います。

本日の3分間スピーチは、嶋田先輩と同じように前もって考えて原稿を作っておりましたので、母の葬儀に関わらず間に合いました。3分間を少し超えてしまうと思いますが、よろしくお願い致します。

まず、ロータリーの原点について「炉辺談話」としてお話したいと思います。

ロータリーに奉仕という概念を提唱したのは、アーサー・フレデリック・シェルドンです。彼はミシガン大学経営学部のマスターコースで当時としては革新的な分野であった販売学を専攻しました。その学問と自らの経験を基本として、1902年にシェルドンビジネススクールを設立して、修正資本主義を取り入れた20世紀の経営学を教えました。

シェルドンはその考え方をロータリーに導入し(1908年入会)、1911年に当時のロータリークラブ連合体がそのままロータリーの奉仕理念として採択し、さらにその考え方は職業奉仕となって現在に至りました。

人生は海のようなものです。ギブ・アンド・テイクの絶え間ない潮の満ち干が、物事を解決します。与えることが奉仕であり、受け取ることが利益または報酬です。しかし、種を蒔く時期が、収穫にするのと同様に、与えることが、受け取ることに先行しなければなりません。利益を得る経営学は奉仕を与える経営学でもあると思います。

ロータリーは、すべての個人やすべての会社が稼ぎ出す金銭は、原因ではなくて結果であることを、大胆不敵に宣言しました。公正に稼ぎ出した金銭は、奉仕の実践の対価として支払われた賃金なのです。従って、原因に遡って推論すれば、奉仕すなわち有用性が、商工業会社の存在理由であるばかりでなく、あらゆる人間活動の存在理由であることが判るのです。

今仮に、世界中の靴の製造に関するすべての人が、大会に集まったとしましょう。更に、靴の製造に使われるすべての機械類や靴の製造技術に関するあらゆるデータが、ここに集められたとしましょう。この大会の会議中に地震が起こって、すべての人間の命と、すべての機械と、そこに集まったすべての記録が破壊されたと仮定しましょう。突然、地球上には靴の製造技術に関する知識を持った人間はいなくなり、機械も記録も全てなくなり、靴の製造技術は突如として失われ、我々の前からすべての履物は姿を消してしまうのです。

この出来事によって、人々は初めて靴屋という事業は靴を売って金儲けしているのではなく、靴屋という職業を通じて社会に奉仕している事実に気付くのです。当然のことながら、これと同じ事例は帽子や服や住居や食物や、その他人間のニーズや快適さや贅沢のために提供されるすべての職業に当てはまるのです。

現在、100人の人に「なぜ、あなたはその職業に携わっているのですか」と質問したら、95人の人は「金儲けをするため」と答えるに違いありません。しかし、それは正解ではありません。事業を営んでいる人の95%が、事業に失敗する根本的な理由は「金儲け」のために事業を営んでいるからなのです。事業が存在する唯一の正当な理由は、自分の事業を通じて社会に奉仕すること、即ち、奉仕の実践をするために事業をしているのです。これが職業奉仕ということだと思います。

最後に私の信条を発表しまして終わりたいと思います。孟子曰く「地の利は人の和にしかず」と申します。地の利よりも何よりも私達、東京東村山ロータリークラブの人の和に勝るものは無いと思っております。私は我がクラブの会員の皆様が「大好き」です。ご清聴ありがとうございました。

クラブ管理委員会

■発表者：
2012～13年度
「歩こう会」発起人
野村(裕)会員

ＲＣの目的、親睦を多いに深めようという趣旨で「歩こう会」を結成しました。親睦を目的として、炉辺会合、ゴルフ、その他色々なことを趣向を凝らして実施している、そんな中で、自分の健康を気にしている人の健康増進を図りたい、それぞれ個々にウォーキングをしている人にとって、皆で歩けば自然と会話は弾むし、親睦にもってこいである、幸いに当東村山周辺は緑の自然に特に恵まれている、これを多いに活用しよう、ということで皆で一緒に歩きましょう、と決まりました。

皆の意見が一致をして、理事会の承認も得て、パスト会長の小町会員を会長として「歩こう会」を昨年12月に発足させました。

第1回　多摩湖半周　12/22(土)
第2回　八国山 荒幡富士　3/23(土)
第3回　御岳山　6/8(土)
第4回　多摩湖遊歩道・小平方面　10/19(土)予定

3回実施し、良かったところは、歩きながらの会話は自ずと開放的になり自由に話が出来る、そして相手の人となりも良く理解できるので親睦が多いに深まったことだと思います。

ルールは、毎回幹事交代制で実施して来ました。東村山周辺の自然探索を中心にしているが、3ヶ月サイクルでやって行こうとの方針ですが、だんだん希望も大きくなり、そろそろ荒船山にチャレンジする計画も入っています。

親睦が深まり飲食が深まると、目的である「歩く」が疎かになり、昼間の炉辺会合のようになり趣旨から外れるとの雰囲気もあります(自分はこの方が好きなのですが)ので、次回は青空の下でおにぎりをほおばり健康増進を図って行きたいと考えています。

これからも多くの会員、奥様、ご家族が参加しやすいように進め、親睦を益々深めていきたいと思います。

■発表者：
2013～14年度
田中クラブ管理委員長

こんにちは。今年度、クラブ管理委員長の役を仰せつかりました田中といいます。どうぞ宜しくお願いします。

吉田ガバナー様、ガバナー就任誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。東村山ＲＣ会員一同心より歓迎申し上げます。会員一同、吉田ガバナー様をより一層理解でき、少しでも多くの事を学ばせて頂きたくよろしくお願いします。今回は楽しみにお待ちしておりました。

クラブ委員長として活動方針、野村会長の「話と和で輪を広げ　ロータリーをもっと身近に」事にあたろうのテーマのもと、親睦・会報・広報の三部門を効果的に運営してクラブの発展につながるよう取り組んで参ります。事業としては、基本は例会。一回一回の例会を大切にして会員相互の親睦理解を深め意識の高揚、ロータリークラブの大発展に繋がるよう、会報の充実、各委員会の連携により地域の燈台になれるよう頑張り、地域の発展、社会、世界平和に貢献できるよう励み、ロータリー活動を満天下に示して行きたいと思います。

東村山ＲＣは人材の宝庫です。毎年地区に大勢の人材を輩出しています。国際大会にも毎年大勢参加しています。多分これからも継続していくことと思います。ただ、他の団体組織全般に言える事ですが、会員の減少に胸を痛めています。私は55歳の時入会。会員数42名だったと思いますが、現在30名と、もっとロータリークラブの事を知っていただく事が大事なのではと思います。今年度ＲＩ会長の話の中で、私たちは推薦されその推薦を受諾することで今日があります。ロータリークラブの一会員でいるか、真のロータリアンとなるかの選択です。

7年前に相羽会員、野澤会員、目時増強委員長他、大勢の会員の皆様に熱心に誘われました。ロータリークラブの事は詳しく知りませんでした。周りから聞いていたのはお金持ちの集まりである、毎週昼に例会をやっていて大変だよ、という事は、ヒマ人の集まりかと思っていました。でも熱心に誘われましたので、一回だけ義理で例会に顔を出しお断りしようとこの会場に伺いました。米山奨学生の卓話で「今中国に帰って頑張っています。今日あるのは東村山ＲＣの皆様のお陰です。恩を忘れず中国と日本の架け橋として頑張っていきます。」と聞いて鳥肌が立ち、自分から入会させてほしいと思いました。何と素晴らしい団体なのだと。

入会して一年間くらいは、場違いの所に入会したの

ではと思った事もありました。2年目3年目と週報のお手伝い、毎週4時間くらいかけてテープおこし、また、素晴らしい先輩のお陰で変わる事ができました。
　日本にロータリークラブが出来た当時、出席と親睦もままならないその時に関東大震災。当時のアメリカのＲＩより50億円もの義援金が送られてきて日本が再建でき、日本の会員が心一つになり大発展したと。また、インド出身のカルヤン・バネルジー国際ロータリー会長様のお話、「ある婦人は家も職も無く公衆トイレの掃除などわずかの収入で、バスターミナル或いは路傍で夜を明かし子供達はひもじさと寒さで病気になりがちでした。そしてこの婦人はロータリークラブが設立したシェルター提供された時、「ロータリアンの皆さんあなた方が私にしてくださった事がお分かりですか　あなた方は私と子供達に新しい人生を与えてくださったのです。有り難う御座いました」と泣き出したとの事です。」 その話は樺澤先輩からお聞きしたりして勉強することが出来ました。
　ロータリアンはお金持ちの集まりだけではありません。また、ヒマ人の集まりでもありません。忙しい時でも時間をつくり遠くからでも時間に間に合うよう駆けつけ、お金はなくても社会が少しでも良くなる様にと会費を払い、嬉しい事があったらニコニコ入れ、お客様がみえたら心より歓迎しおもてなしをする。ロータリアンは心豊かな人たちの集まりであると今自信をもっています。ロータリアンは人生の勝利者、成功した人の集まりであると思います。確信しています。
　御聖訓「蔵の財より身の財大切なり　身の財より心の財第一なり」とあります。心こそ大切なり、真のロータリアンとなれるよう、経済的にも力をつけ、人格を高め社会に恩返しができるよう、これからも死ぬ気で頑張ります。大いに脱線してしまいましたがせっかくの機会、クラブ管理委員長として発表させて頂きました。ロータリアンの皆様、共々に身体を大切に飲み過ぎないよう家族として仲良くやりましょう。夏の家族親睦花火大会には45名の参加、有り難う御座いました。12月には、家族親睦クリスマスパーティに60名の参加を予定しています。熱い熱いご支援をお願いします。
　また、10月に行われます地区ゴルフ大会予選。分区で圧倒的勝利し、地区で初優勝を目指します。心で勝て、次に技で勝て、練習は実践、実践は練習。との思いで頑張りましょう。
　残された人生、豊かな人生を送りましょう。有り難う御座いました。

■総評：
吉田ガバナー

■謝辞・閉会挨拶：
野村会長

2279回例会

■司会：
山本例会運営委員長

■点鐘：野村会長

■合唱：ロータリーソング
「日も風も星も」

◆ソングリーダー：
村田会員

■お客様紹介：
神崎パスト会長

◆ゲスト：白川南ＲＣ
福山吉英様

◆ゲスト：東京昭島ＲＣ
相田禎延様

◆ゲスト：東村山青年会議所　二木康秀様

■会長報告　　野村会長

　改めましてこんにちは。本日は、楽しみにしていたガバナー訪問です。後程吉田ガバナーより卓話をしていただきます。そして、質疑応答の時間もございますので、折角のチャンスですから、是非ガバナーと会話していただければ幸いです。
　さて、週末はすっきりしないお天気でしたが、台風

一過素晴らしい秋晴れに恵まれています。しかし、今回の台風は、各地に甚大な被害をもたらした結果、素直に季節感を満喫する気持ちになれません。でも季節は確実に変化しています。例えば今日9月19日は中秋の名月です。以前から満月は、いつもあるのに中秋の名月だけが何故に有名なのか？疑問に思っていました。ちょっと調べましたので、お話します。太陰暦(旧暦)では、7、8、9月を秋とし、その真ん中の8月15日を中秋と言うそうです。月見の鑑賞は中国から伝わったと言われ、9世紀末頃より宮中で宴が催されるようになったそうです。秋は空が澄み渡り、月の高さも程よく眺められる良い季節と言う事で月を楽しむ習慣があるそうです。また明日は、彼岸の入りです。「暑さ寒さも彼岸まで」と昔から聞かされて育ってきました。まさにこの2、3日のお天気はそのものです。今年は、23日が秋分です。(彼岸の中日)秋分の3日前の日を「彼我の入り」といい3日後を「彼岸の明け」といって、彼岸の中日を入れ7日間がお彼岸となります。お彼岸と言えば墓参りに行く習慣がありますがどうしてでしょう？当クラブには、お坊さんが居ないので気楽に話せますが仏教では、生死の海を渡って到達する悟りの世界を彼岸といい、その反対側の私達がいる世界を比岸(しがん)と言います。そして、彼岸は西に、比岸は東にあるとされていて、太陽が真東から真西に沈む秋分と春分は、彼岸と比岸が最も通じやすくなると考え、先祖供養をするようになったとの事です。また、元々農村部では、秋分の頃に豊作を祝う自然信仰があり、仏教の浸透とともに、秋分は「秋の彼岸」として祖先を供養する意味を持ち始めたとも言われています。このように日本人は、自然に寄り添う暮らしの中で、感性や知恵がそこに込められているようです。

■幹事報告　石山幹事

■ＲＩ国際事務局：
「仕プロジェクトの流れ(ライフサークル)」ウェビナー第1回の案内の受理
インターネットを利用したオンライン研修システム、参加費無料
個人で登録のこと

■地区ローターアクト代表：
2013～14年度2580地区ローターアクト7･8月活動報告の受理

■インターアクト委員会：
第3回地区インターアクト委員会開催の案内の受理
2013年10月26日(土)　15:00～
於　日本大学第一高等学校

■国際奉仕委員会：
シドニー国際大会についてのアンケートのお願いについて
・相羽委員長回答済み

■ガバナー事務所：
2013～14年度地区役員、クラブ会長・幹事名簿の訂正の受理

■東京福生ロータリークラブ：
第3回多摩分区連絡会の案内の受理
2013年10月9日(水)　16:30～
於　石川酒造 新蔵

■緑を守る市民協議会：
平成25年度第7回全体幹事会のお知らせについて
9月24日(火)　18:30～
於　北庁舎

■学校法人菅生学園：
東海大学菅生高等学校創立三十周年を祝う会の案内の受理
2013年10月13日(日)　13:30
於　学校法人菅生学園学びの城

■スポーツ祭東京東村山市実行委員会：
・第68回国民体育大会デモンストレーション「ティーボール」開会の案内
2013年9月21日(土)　8:40～
於　明法中学・高等学校
・第68回国民体育大会バスケットボール競技会開始式の案内
2013年10月4日(金)　9:00～
於　東村山市民スポーツセンター第一体育室

■回覧：ハイライトよねやま

■出席報告　中條例会運営委員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
30	29	0	1	96.55

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：2名
■前々回出席率メークアップ修正後：93.10%
■前々会メークアップ者：
赤木会員：理事会
飯田会員：地区インターアクト
金子会員：理事会

■ニコニコＢＯＸ　山宮クラブ管理委員

■皆出席：
野崎会員(24回目)

■会員誕生祝月：
神﨑会員

◆ガバナー吉田建二様、地区幹事伊東清仁様：
東村山クラブの今後の発展を祈念申し上げます。

◆相 田 様：2750地区、昭島ＲＣより参りました。小町さんの元部下で今日を楽しみにしてきました。皆様よろしくお願いします。

◆福 山 様：お久しぶりです。

◆野村会長：吉田ガバナー、伊東地区幹事、橋本ガバナー補佐、斉藤分区幹事、福山さん、相田さん、本日はようこそお越しくださいました。皆様本日は大変ご苦労様です。エンジョイロータリーの精神で頑張ります。

◆石山幹事：第2580地区ガバナー吉田建二様、地区幹事伊東清仁様、本日はようこそお越し下さいました。どうぞよろしくお願い致します。橋本ガバナー補佐、斉藤分区幹事、2週に渡り大変ご苦労様です。

◆戸澤会員：吉田ガバナー、伊東地区幹事、橋本ガバナー補佐、斉藤分区幹事、ようこそおいで頂きました。今日は皆でロータリーを語りたいと思います。よろしくお願い致します。

◆當麻会員：吉田ガバナー、伊東地区幹事、本日はよろしくお願いします。

◆相羽会員：先日炉辺会合に多くの会員の皆様に参加して頂きありがとうございました。

◆野澤会員：吉田ガバナーを始め、皆様ようこそ東村山へ。公式訪問、いろいろご指導よろしくお願い致します。今晩は月を見ながらおいしいお酒を彼女(かみさんです)と酌み交したいと思います。

◆野崎会員：本日は吉田ガバナー始め、地区役員の皆様ご苦労様です。吉田ガバナーにおかれましては米山奨学委員会の各種行事に参加頂き適切なアドバイスを頂きありがとうございます。今日はよろしくお願いします。

◆山本会員：吉田ガバナー、伊東地区幹事ようこそいらっしゃいました。本日はよろしくお願い致します。橋本ガバナー補佐、斉藤分区幹事本日もよろしくお願い致します。

◆樺澤会員：吉田ガバナー様、伊東地区幹事様、橋本ガバナー補佐様、斉藤分区幹事様、本日はよろしくご指導下さい。本日は発表させて頂きますのでよろしくお願いします。

◆中丸会員：吉田ガバナー、伊東幹事、橋本ガバナー補佐、斉藤分区幹事、ようこそおいで下さいました。本日はご指導よろしくお願い申し上げます。

◆小町会員：吉田ガバナー、伊東地区幹事、橋本様、斉藤様、本日はよろしくお願いします。友人であります東京昭島ＲＣの相田さん、どうぞ楽しんでいって下さい。

◆田中会員：吉田ガバナー様、伊東地区幹事様、橋本ガバナー補佐様、斉藤分区幹事様、ようこそ東村山へ。楽しみに待っていました。

◆野村(裕)会員：
吉田ガバナー、伊東地区幹事、ようこそいらっしゃいました。クラブ協議会で「歩こう会」をＰＲさせて頂きました。多いに親睦を図っていきますので、ご指導よろしくお願い致します。

◆菱沼事務局：
いつもお世話になっております。私、21日に2019年に新しくなる国立競技場で行われる「嵐」のコンサートへ行くことになり気もそぞろです。案の定、大事なプログラムでミスプリをしてしまいました。ガバナーをはじめ皆々様、こんなそそっかしい事務局で申し訳ありません!!

本日のニコニコ合計：　57,000円
累　　計　：　489,574円

■ゲスト挨拶

■多摩分区ガバナー補佐
橋本恵治様

■多摩分区分区幹事
斉藤富美男様

■委員長報告

■歩こう会
野村(裕)会員

こんにちは。クラブ協議会の方でも報告させていただきました。あるこう会から連絡させていただきます。第4回のあるこう会を10/19(土)開催いたします。方面は多摩湖遊歩道・小平方面です。中心は小平に平櫛田中記念館がございますので、そこでいろいろと学ぼうをテーマにしてまいりたいと思います。

細かい行程については来週ご連絡させていただきますが、大いに皆様方、参加していただくようよろしくお願いいたします。

■相羽国際奉仕委員長

皆さんこんにちは。国際奉仕として、カンボジアにきれいな水をプレゼントしたく、今年度4カ所の井戸を寄贈しようということで、費用として10万円ほどかかるのですが、これを寄付の上プレゼントしたいと考えています。募金を募ると言うことでやらせて頂きますが、できれば平均ということで3500円入れていただくと、ちょうど10万円集まるので、是非よろしくお願いいたします。

■山本地区社会奉仕委員

地区の社会奉仕委員会からご報告がございます。
先般社会奉仕委員会に出てまいりました。先程お話しがありましたとおり、ロータリー希望の風奨学金の支援についてということで、各クラブを回って講演をできるようにということでレクチャーをしてまいりました。このロータリー希望の風奨学金については、吉田ガバナーも一所懸命推進して協力を頂きたいということでお話しをしてらっしゃると思います。色々、誤解とか内容の方が伝わっていないので、きちんと内容を説明して頂くことは良いことだと思いますので、プログラム委員長の方に時間を頂きまして、私卓話を今度クラブでさせて頂きたいと思いますので、その後皆さん納得をして頂いて、多くの寄付をお願いしたいと思います。社会奉仕委員会より以上でございました。
それから、本日は青年会議所の方から、9/27にサンパルネコンベンションホールで伊原春樹さんの素晴らしい講演があるということで、是非一人でも多くの参加を頂きたいということで、青年会議所の方から、お越し頂きました。

■小町会員研修委員長

伊原春樹氏の講演のご案内をと、東村山青年会議所より二木康秀さんがお越しなっています。

■東村山青年会議所
二木康秀様

東村山青年会議所では2013年9月27日(金)にプロ野球選・コーチ・監督としてご活躍された伊原春樹氏をお迎えして「向けずに見せろ　背中で語れ　次世代に！」と題した講演会を開催致します。
◆日にち：2013年9月27日(金)
◆時　間：18:30～受付　19:00～開演
◆場　所：サンパルネコンベンションホール
◆定　員：100名
入場は無料となっております。なお、後日レポートをご提出頂くことが条件となります。ご提出頂いたレポートは講師の方に見て頂き、後日コメントを添えてご返却させて頂きます。
よろしくお願い致します。

■卓話

■第2580地区ガバナー
吉田建二様

第2580地区ガバナーに就任し、公式訪問が始まりました。沖縄を含めた71の各クラブを来年2月まで7ヶ月かけて訪問致します。
ロン・バートン会長は「Engage Rotary Change Lives」(ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を)を提唱なさっていますが、私は「Enjoy Rotary Change Lives」と申し上げます。Enjoyなどと言うと、また吉田は遊ぶことばかり考えている、と怒られそうですが、そうではありません。
ただ「楽しむ」ということではなく、皆で知的好奇心をを発揮して学び合うのです。勉強をして、賢くなるのです。そして多くの知識や知恵、アイデアを持つことです。これ全てが「楽しみ」ではないでしょうか？その「楽しみ」によって、今までよりも多くの視点から物を見て自分自身の役割や責任を果たすことが出来るようになり、柔軟な対応が出来るようになるのです。そしてそれが自分自身の人生を豊かにするのですから、この喜びに勝るものはありません。私達のそのような日々の行動やロータリー活動は、地域社会や世界で支援を求めている人々に影響を与え、彼らの人生を変えることが出来るのです。

■閉会点鐘：野村会長